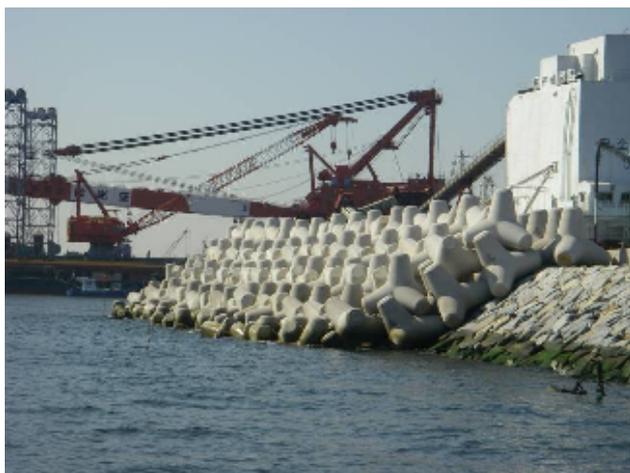




埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	他
埋立IV工区	



埋立IV工区では消波ブロックの据付をおこなっています。
 消波ブロックは波のエネルギーを消散する目的で設置される護岸を守るためのコンクリートブロックで、上部ブロックを背面として被覆石を覆う形で敷き詰めていきます。ブロックの規格は5t型と10t型の2種類あり波の影響を受けやすい沖側護岸(10t型)と航路側・接続部側(5t型)に設置し、設置範囲は全長約2500mになります。

また水中部の消波ブロックは環境共生型といって海の生物が付着しやすいようにブロックに溝(1個のブロックに12箇所)が施されています。

ブロックは千葉県の小糸川ヤードで製作され台船で工事海域に運ばれます。設置はクレーンで慎重におこない、しっかりとブロックがかみあわさっているかチェックしながら進めていきます。埋立全工区で約25000個設置し来年8月まで作業をおこないます。

護岸堤内側では埋立土が海面から姿を表し供用開始に向け護岸・埋立部ともに着々と工事は進んでいます。